

第136回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	売	掛	金
受	取	手	形	未	収	入	金	手	形	貸	付	金
消	耗	品	土	地	建	物	支	払	手	形	未	払
買	掛	金	当	座	借	越	手	掛	借	入	金	未
商	品	券	資	本	金	売	上	受	取	利	息	消
固	定	資	産	売	却	益	仕	入	減	価	償	却
支	払	運	賃	水	道	光	熱	費	支	払	利	息
												固
												定
												資
												産
												売
												却
												損

1. 水道代 ¥ 10,000 が当座預金口座から引き落とされた。なお、このうち 20%は店主の家事のために使われたものである。
2. 2週間前に ¥ 800,000 の土地を ¥ 700,000 で西井商店に売却していたが、本日、代金の半分が当店の普通預金口座に振り込まれた。
3. 商品 ¥ 100,000 を内田商店より仕入れ、代金のうち ¥ 80,000 は手元に保管している得意先佐藤商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残額を掛けとした。なお、商品の引取運賃 ¥ 3,000 は現金で支払った。
4. 甲斐商店に運転資金 ¥ 600,000 を貸し付けるため、同店振出しの約束手形を受け取り、同日中に当店の当座預金より甲斐商店の普通預金口座に同額を振り込んだ。なお、利息は返済時に受け取ることにした。
5. 消耗品 ¥ 10,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当店の当座預金の残高は ¥ 9,000 であるが、銀行との間で借入限度額 ¥ 50,000 の当座借越契約を結んでいる。また、当店は消耗品の処理について、購入時にいったん費用として計上し、決算時に未費消分を資産に振り替える方法を採用している。

## ・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	水道光熱費	8,000	当座預金	10,000
	資本金	2,000		
2	普通預金	350,000	未収入金	350,000
3	仕入	103,000	受取手形	80,000
			買掛金	20,000
			現金	3,000
4	手形貸付金	600,000	当座預金	600,000
5	消耗品費	10,000	当座預金	9,000
			当座借越	1,000

## ・解説

1. 資本の引き出しに関する問題です。

引き落とされた水道光熱費 10,000 円は営業用（事業用）と店主用の 2 つに分けたうえで、前者を**水道光熱費**で費用処理し、後者を**資本の引き出し**として処理します。

なお、本問は問題で列挙されている勘定科目の中に資本金がある（引出金がない）ので、資本の引き出しに関する仕訳は**資本金で処理**します。

- ・ 80%は事業用 → 8,000 円（=10,000 円×80%）は**水道光熱費**で費用処理
- ・ 20%は店主用 → 2,000 円（=10,000 円×20%）は**資本金の減少**として処理

資本の引き出しに関する問題は第 102 回の問 3 や第 106 回の問 4、第 107 回の問 2、第 111 回の問 3、第 114 回の問 2、第 117 回の問 5、第 122 回の問 1、第 125 回の問 2、第 126 回の問 5、第 127 回の問 5、第 129 回の問 5、第 133 回の問 3、第 135 回の問 4、第 139 回の問 4、第 145 回の問 1、第 147 回の問 2 でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. 固定資産の売却・未収入金に関する問題です。

まず売却時の仕訳を書き出し、そのうえで未収入金を普通預金に振り替えましょう。

## ☆参考・売却時の仕訳

(借) 未収入金 700,000 / (貸) 土地 800,000  
(借) 固定資産売却損 100,000

## ★解答・回収時の仕訳

(借) 普通預金 350,000 / (貸) 未収入金 350,000

なお、問題文に「代金の半分が当店の普通預金口座に振り込まれた」とあるので、上記の未収入金 700,000 円のうち、**半分の 350,000 円**を普通預金に振り替えます。深く考えずに 700,000 円で仕訳をしてしまった方は、問題文をきちんと読んで解答してください。

また、普通預金ではなく当座預金を使って処理してしまった方は、解答時に勘定科目のチェック作業を怠らないように気をつけてください。

固定資産の売却に関する問題は、第 102 回の問 2や第 105 回の問 2、第 108 回の問 1、第 115 回の問 4、第 119 回の問 5、第 120 回の問 3、第 122 回の問 5、第 132 回の問 2、第 134 回の問 1、第 135 回の問 3、第 137 回の問 3、第 138 回の問 2、第 142 回の問 1、第 146 回の問 2、第 149 回の問 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

3. 仕入取引・手形取引に関する問題です。

この問題は【手形の裏書きに関する仕訳】【掛け仕入に関する仕訳】【引取運賃に関する仕訳】に分けて考えましょう。

#### ■手形の裏書きに関する仕訳

問題文に「代金のうち ￥ 80,000 は手元に保管している得意先佐藤商店振出しの約束手形を裏書譲渡」とあるので、得意先振出しの約束手形の減少→**受取手形の減少**として処理します。

#### ★解答仕訳①

(借) 仕入 80,000 / (貸) 受取手形 80,000

#### ■掛け仕入に関する仕訳

通常の掛け仕入なので、特に問題ないと思います。

#### ★解答仕訳②

(借) 仕入 20,000 / (貸) 買掛金 20,000

#### ■引取運賃に関する仕訳

引取運賃などの付随費用は、商品を仕入れるさいに不可避免的に発生する費用なので、**仕入原価に含めて処理**します。支払運賃勘定を使わないように気をつけましょう。

商品の仕入原価 (103,000 円) = 購入代価 (100,000 円) + 付随費用 (3,000 円)

#### ★解答仕訳③

(借) 仕入 3,000 / (貸) 現金 3,000

以上、①②③をまとめると解答仕訳になります。

4. 手形貸付金に関する問題です。

本問は、問題文の「**同店振出しの約束手形を受け取り**」から、貸し付けにあたって借用証書の代わりに約束手形を受け取ったことが分かります。

このような場合は、通常の貸付金と区別するために**手形貸付金**で処理します。仕訳の考え方や処理方法は貸付金と同じです。

- ・借用証書による貸し付け：貸付金で処理
- ・約束手形による貸し付け：手形貸付金で処理

なお、利息に関しては「利息は返済時に受け取ることにした」とあるので、貸付時に考慮する必要はありません。参考までに、以下の「返済時の仕訳」をご確認ください。

☆参考・返済時の仕訳

(借) 現金など	***	／	(貸) 手形貸付金	600,000
			(貸) 受取利息	***

手形貸付金に関する問題は、第149回の問1でも出題されているのであわせてご確認ください。

5. 消耗品・当座取引に関する問題です。

まず消耗品については「購入時に費用処理する場合」と「購入時に資産計上する場合」の2パターンがありますが、問題文に「購入時にいったん費用として計上し」とあるので、前者のパターンで処理すると判断します。

- ・費用処理する場合 … **購入時：消耗品費勘定で処理**、期末時：未費消分を消耗品勘定に振り替え
- ・資産計上する場合 … 購入時：消耗品勘定で処理、期末時：期中消費分を消耗品費勘定に振り替え

次に当座取引の処理に関しては、【当座預金勘定と当座借越勘定を使う2勘定制】と、【当座勘定のみを使う1勘定制】の2つがありますが、簿記3級の頻出論点なので、どちらの処理も必ず押さえておきましょう。

本問は、問題文に列挙されている勘定科目に当座預金勘定・当座借越勘定がある（当座勘定がない）ので、当座預金勘定と当座借越勘定を使う**2勘定制を採用**していると判断します。

■当座預金勘定と当座借越勘定を使う2勘定制（解答）

当座を増加させるような取引（商品の売上や有価証券の売却など）の場合は、まず当座借越があるか確認します。当座借越がある場合それを相殺したうえで残りを当座預金勘定に計上し、ない場合は全額をそのまま当座預金勘定に計上します。

逆に、当座を減少させるような取引（商品の仕入や有価証券の購入など）の場合は、まず当座預金の残高があるか確認します。当座預金の残高がある場合はそれをゼロになるまで減額したうえで残りを当座借越勘定に計上し、ない場合は全額をそのまま当座借越勘定に計上します。

本問は、問題文に「当店の当座預金の残高は ¥ 9,000 である」とあるので、まずは当座預金勘定を減額し、それでも足りない1,000円（＝10,000円－9,000円）を当座借越勘定で処理します。

★解答仕訳

(借) 消耗品費	10,000	／	(貸) 当座預金	9,000
			(貸) 当座借越	1,000

■当座勘定のみを使う 1 勘定制（参考）

参考までに、当座勘定のみを使う 1 勘定制を採用している場合の仕訳も押さえておきましょう。当座に関する仕訳は全て「当座勘定」を使って処理するだけなのでとても簡単です。

☆参考仕訳

（借）消耗品費 10,000 / （貸）当座 10,000

消耗品に関する問題は、第 113 回の問 3や第 123 回の問 3のように固定資産の購入に絡めて出題されることが多いので、本問とあわせて処理を確認しておいてください。

当座取引に関する問題は、第 100 回の問 2や第 103 回の問 5、第 104 回の問 2、第 105 回の問 1、第 114 回の問 5、第 121 回の問 5、第 122 回の問 2、第 125 回の問 5、第 129 回の問 1、第 133 回の問 1、第 134 回の問 3、第 135 回の問 5、第 137 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。